

謹賀新年



視聴覚室
1,680円→2,600円



講堂(舞台含)
6,800円→10,640円



調理実習室
1,600円→2,480円



第3会議室
640円→1,000円



第1和室
400円→600円



第1会議室
480円→720円

12月定例会
ここに
注目

中央公民館の使用料
約1.5倍引き上げ

採決結果

賛成14 反対3
賛成多数可決

中央公民館使用料については、町民会館・総合体育館など町内の他施設の利用者との負担率を合わせるとともに、近隣市町の同等施設の使用料に合わせるため、1.5倍程度を引き上げることになりました。

*上記使用料は、午後(13時~17時)の料金です

議案審議

12月定例会は、12月3日から16日までの14日間の会期で開催しました。
中央公民館の工事請負変更契約の締結や補正予算、条例の一部改正など20議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
一般質問では、15人の議員が町政の問題をただししました。

公民館は地域活動の拠点

問 現在の使用料は、どのような基準で決められているのか。

答 使用率が60%であると仮定し、減免なしの100%徴収した場合に、その半分程度を負担していただくと算定した。

問 今回の改定は、他市町と合わせるということか。

答 他市町のみでなく、町内の公共施設も含めて検討した。

平成25年度一般会計補正予算

防災ラジオ500台追加注文

これまで戸別受信機を配布していましたが、製造中止となり、防災ラジオを販売することになりました。10月15日号の広報に掲載

し、10月24日には販売が終了しました。

平成26年7月頃の販売を目指し、新たに500台の発注をします。



平成26年7月頃販売予定

防災機器整備費 415万8000円

障害児通所支援の施設 新たに2箇所開設

障がい児の支援事業や放課後等デイサービスなどをおこなう施設として、新たに「Paka Paka」と「びいーぼ」が開設しました。

これにより「武豊町立あおぞら園」、「こじろっこ」を含め障害児通所支援の施設が4箇所となりました。



Paka Paka 5月1日よりスタート



びいーぼ 6月1日よりスタート

障害児通所給付費 1890万円

「ついでに」のきのため

問 防災ラジオは、市販の既製品では対応できないのか。

答 市販のものでは、同報無線を受信できない。

同報無線を受信できる防災ラジオは、受注生産となるため、納入までに約半年かかる。

身近な地域で支援を

問 開設される通所施設のそれぞれの事業規模と事業内容は。

答 開設される通所施設は、「Paka Paka」と「びいーぼ」である。

2箇所とも定員10名という規模である。

「Paka Paka」は、児童発達支援および放課後等デイサービスで、「びいーぼ」は、放課後等デイサービスの事業所である。

ご寄付
ありがとうございます
ございました

西尾信用金庫様
JFEオーブン
チャリテイゴルフ大会様
JAやすらぎ様

30万円
13万3千円
2万5千円

社会福祉総務費に
衣浦小学校マーチングバンドの
楽器購入

採決結果
全会一致可決

中央公民館 土壌を入れ替え

施設耐震改修工事および昇降機設置工事において、耐震補強フレームとエレベーター棟の基礎部分の支持杭を打設する工法に適さない層が発見されました。土壌調査の結果は、土壌

ならびに保有水、地下水ともにも搬出して安全に処理できる数値でした。埋設物の処分費と工事再開に向けての杭重機回送費等の経費が増額となります。

平成26年3月25日 工事完了予定



埋設物処分工事一式

埋設物混じり土処分 216.0㎡
コンクリート殻処分 20.0㎡

杭重機回送費など一式

2746万2750円(増額分)

採決結果

全会一致可決

議案審議

マニュアルに従い 適正に処分

問 土壌調査を行い、いつ調査結果が出て、どのような調査結果だったのか。

答 8月末に試掘をしたところ、工法に適さない層が出てきた。土壌分析、保有水、地下水の検査をして、建設現場から出てくる廃棄物ということで処理をしていくという方針を固めた。

問 環境には影響のない土壌という理解でいいか。

答 建設現場から搬出し、廃棄物として持ち出して処理できるという基準では、十分基準をクリアしているので、安全に作業をして搬出処分ができる。

問 工期を確認したい。

答 完了までの工期は、平成26年3月25日である。

読者は、見出して読んでいただくか決める！

議会だより特別委員会 目から鱗うろこの研修指導

10月29日・30日と、毎日新聞社と講談社を視察研修しました。

今後の議会だより作成に、委員会として活かしていきたいと思えます。

毎日新聞社

見出しは勇気と覚悟

毎日新聞社では、「見出し」の役割について、
①中身を一目で伝える要約
②興味ある記事を選ぶ目次と指摘を受けました。
また、「デザインはシンプルの方がいい」、「色には意味がある」などの指導を受けました。

講談社

編集とはなにか

「見出し」などの、最初の数行で読者は、読むかどうかを決めると、「見出し」の持つ重要性を指摘。字間より行間が広い方が読みやすいなどと、指導していただきました。



■講談社での研修



■毎日新聞社での研修

武豊町に活かします

行政視察報告

住民に開かれた議会とは

総務企画委員会

10月15日、千葉県流山市と埼玉県三芳町を視察しました。

流山市では、「市民に開かれた議会」の実現のために、議会活性化推進特別委員会を設置し、「ICT推進基本計画」を策定しました。

本会議・委員会の動画配信・ホームページのリニューアル・Facebook・ツイッターなど、ICTを活用したさまざまな情報発信を実施しています。

三芳町では、「補助金の見直し」、「財政白書づくり」の2課題を視察しました。

「補助金の見直し」では、我孫子市のような評価基準での見直しは難しく、独自

の判定基準をもつけた。また、住民が、町民目線でわかりやすい財政白書をつくりました。

*ICTとは：

Information and

Communication Technology

(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略。コンピュータやネットワークに関連する諸分野における設備・サービスなどの総称で、情報処理および情報通信。



■流山市での研修

給食のアレルギー対策は

文教厚生委員会

11月20・21日、兵庫県川西市の民間保育園と太子町および多可町を視察し、保育園での臨床心理士の導入と実績、給食のアレルギー対策、調理業務の民間委託の実態などを研修しました。

川西市かわにしひよし保育園では、特別支援や保護者のカウンセリングは保育士の専門外であることから、子どもの育児、子ども同士

や保護者間のトラブルの解消などを目的に臨床心理士の導入を決め、月2〜3人の相談をすすめて成果を挙げました。

また、多可町の給食アレルギー対策は、近代的な設備で園児・児童・生徒のアレルギー実態に合わせて調理され、安全対策に万全を期していました。

太子町での調理業務の民

間委託は、人事管理や調理業務には問題は起きていないが、業者選定で町内に引き受ける業者がなく町外の専門業者に委託せざるを得なかったことなど指摘されました。



■多可町給食センターでの研修

重点課題に備えて

産業建設委員会

10月23日・24日、大阪市淡路駅周辺区画整理組合、西宮市東部総合処理センターおよび屋内プール施設リゾ鳴尾浜を視察しました。

淡路駅周辺区画整理事業では、区画単位の玉突き移転や移転補償価格は外部の人を含む審査委員会で決定するとし、その内容を通知

価格交渉は一切行わないし、期限を過ぎた物件は補償価格下落査定に徹するなどを研修しました。

東部総合処理センターでは、事業の公正・透明性や事業運営の安定性、継続性、責任性と経済性を評価した結果、公設民営に至ったなどの経緯を研修しました。



■淡路駅周辺土地区画整理事業